

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 ( 3669 ) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 5 月 1 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

もう一度おさらいしておきます。9・17・26・33・42・65 これが**基本数値**でした。(4月23日号のレポート参照)

では、この基本数値が**実際の相場にどのように影響する**のかをご説明します。

日経平均の週足チャートをご覧下さい。日経平均の週足には基本数値の**42**が頻繁にあらわれることが多いのです。これは**42週変化日**といって有名過ぎるほど有名な話です。

**重要な高値、あるいは安値から42週目に相場は変化する。**

チャートをご覧いただきますと、1～2週の誤差は生じるものの**42**という数値が大きく影響していることがわかりいただけます。

2000年7月31日安値**15394**円から41週目に2001年5月7日高値**14556**円をつけています。これがこの年の高値。つまり42週目から下げに転じたこととなります。その2001年5月7日高値**14556**円から今年2月8日安値**9420**円までの日柄は40週。今度は誤差が2週生じましたが、これが今回の相場の出発点になったわけです…。

日経平均の週足には基本数値の**42**が頻繁にあらわれる!! **42週変化日**。覚えておいて下さい。

(無料テレフォンサービス)やさしいチャート教室 03-3669-5552)



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。